

記 念 物
【天然記念物】

イシガキニイニイ

Platypleura albivannata

指定年月日／2008（平成 20）年 5 月 26 日
所 在 地／地域を定めず指定



撮影：渡辺賢一

イシガキニイニイは米原地区の極めて狭い範囲に生息し、6月中旬から7月上旬にかけて出現する。ヤエヤマニイニイとは形態的特徴と鳴き声が非常に似ており、判別は難しいが、後羽の付け根部分（翅垂部）が乳白色のため区別される。また、最近では音声の解析による両種の区別の可能性も出てきた。

1970 年代に発見された当時でも、分布域は東西に約 2km ほどであった。現在は更に分布域は狭くなっており、環境省レッドデータブックでは最も危機的な絶滅危惧 I 類 A と

されている。2002（平成 14）年には種の保存法による国内希少種に指定され、生息保護区・立入制限地区が制定された。

2008（平成 20）年に市指定文化財になったが、正確な生息範囲や交尾・産卵等の生態については未知の部分が多くある。生息状況のモニタリングは行われているが、個体数が増加する兆しが見られず、絶滅が危惧される天然記念物となっている。